

平成26年度 市民協働型まちづくり事業補助金事業公開提案会・選考会

日 時：平成26年6月8日（日）9：30～15：00

場 所：市民会館 第7会議室

参加委員：委員16名（渡邊会長・飯田・小宮山洋子・篠川・滝口・湯山・渡邊茂夫・日吉・林・小宮山なほみ・山崎・田代・勝間田・井上・渡邊達也・府川）

アドバイザー1名（牛山教授）

合計17名

事務局：課長・統括・鈴木（市民協働課）

1 開会（課長）9：30

2 会長あいさつ（渡邊会長）

3 市民協働型まちづくり事業提案説明 9：35～11：20

事業計画書に基づき、市民提案部門応募7団体より事業説明が行われた。

説明後の主な質疑応答は以下のとおり。

①事業名：地域ねこ活動事業

団体：地域ねこ活動の会

（説明時間：6分40秒）

委員A：2年目であり、来年も申請されると思うが、手術がメインで、金額的にかなり大きい。市民協働が終わったあとはどうなるのか。内部資金が2万円ほどあるが、例えば地域の受益者に寄付をお願いするなど、どのような将来的考えがあるか。

団体：新橋区では予算を取っている。3年までに各区にPRし、各区で予算を取ってもらえるように行動したい。

委員B：保健所が入っているが、その役割は。また、新橋区では地域ねこという理念が定着しているが、ほかの区への説明や啓発は。理念を伝えるのが一番難しいと思う。

団体：苦情があった時に出向き飼い方の説明、飼い猫捕獲防止のための資料作りおよび回覧が回らないアパートへのポスティング。

ほかの地区に入る場合には区長や班長に出向き説明し、承諾を得てから実施し、その地区でもまた報告書を配る。

②事業名：富士山世界文化遺産御殿場市民向けパンフレット作成

団体：御殿場市富士山世界文化遺産研究会 (説明時間：9分50秒)

委員 C：パンフレットは市民向けなのか観光客向けなのか。兼用は難しいと思う。今回は学校に配られ、市民に今後長く根付くようにという趣旨であれば、市民に配られるということによろしいか。

団体：作成にあたり、社会教育課と商工観光課から資料やアドバイスをもらっている。市の観光向け資料で扱わないものを扱うことにより市内外の方に理解してもらえる。観光客が一般書物では紹介できないことに興味を持つことで観光業にも使える。観光客向け+地元の理解を深めるという2つの柱を想定している。

委員 B：パンフを配るだけでは効果が薄いと感じる。今後講演会を開催するとあるが、講演会とまでいかなくとも研究成果の発表の場でもあるワークショップを開催すればより理解が深まるのではということ提案する。

団体：検討する。

委員 D：すでに配布されているものと内容が同じようだが、どのような特徴があるのか。

団体：内容を精選しながらわかりやすくする。団体メンバーに教員がいるので、授業の中で取り扱ってもらえる内容にしたい。子供らに富士山に対する意識を持ってもらうため、徐々に詩や作文、年配の人の富士山への思いも紙面が増えるなら掲載したい。紙面のバランスをとりながら市民向け・観光客向けの両方の要素を兼ねつつ、学校の協力を得ながら広めていきたい。専門家が見ると知っているような内容があると思うが、対象が教育の部分も含まれるので、今までと同じ内容が出てくることは否めない。

③事業名：元気いっぱい おかみさん市

団体：御殿場おかみさん会 (説明時間：3分)

委員 E：(去年) 見させてもらい、にぎやかでたくさんの方が来ていたが、雨だった。雨対策は。

団体：予算にも載っているが、雨天の場合、テントをステージに設置する。出店に関しては各店で対応する。

④事業名：第2回富士山アートフェスティバル

団体：NPO ありがとう ふじさん

(説明時間：7分15秒)

委員 F：事業計画は非常に貴重だが、独自事業ということで観客動員が寂しい気がする。市民会館で文化スポーツ課が取り組んでいる事業や、ふじざくらで行っている様々な事業と一体化し動員増を目指すといった協力ができないか。

団体：昨年度は「富士山を書く・描く」についてふじざくらと協力し、大変にぎわった。(アートフェスティバルは)市民会館小ホールで行ったが、子供たちや沼津・三島からもダンスで参加してもらい、小ホールは満杯になった。今年は大ホールなので告知を早めにする。各市町の FM にも協力していただく。司会は SBS アナウンサーなので SBS の協力も得られる見込み。

⑤事業名：「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市

団体：東山路観光協議会

(説明時間：8分20秒)

委員 G：このようなものを作ってもらい観光客に歩いてほしいし、自分自身も歩きたいと思う。見積もりや印刷内容を見ると、保存版を考えているようだが、温泉地などでは季節ごとに違う情報が載っている歩きやすいマップがある。そのように、季節によって違うマップにしようという意見はなかったか。

団体：多少あった。内容についてはまだまだ検討が必要。

委員 A：サイズは A3 で、内容はまだまだこれからという説明だったが、単なる道順を案内する地図的なものなのか、東山を中心とした周辺地域の歴史や文化の紹介に重きを置くマップになるのか。

団体：個々の場所で詳しいものを持っているので、歴史は大まかに入れ、行きたいと思わせるものにしたい。何分で行け、帰りはどうするかなどが見つけられるマップに。設立当初から東山区も一緒にやっているのだから、区の祭りなども紹介したい。逆に人が入られては困るところなどにも、細かく配慮できるかと思う。

委員 E：お客さん目線に立ったマップを作りたいということがほかの経営者に対しても同じ趣旨で伝わっているか。閉鎖的な、「その辺を老人が歩かないでほしい」といったような意見を言われたことがある。そのあたりの意思疎通はできているか。

団体：現在9団体が参加しているが、希望がどんどん増えている。コンセンサ

スを得て「このような対応をしよう」としたい。色々な事情でできなかったら、お客さんに対し「そこは難しいけど、このような形なら楽しいかも」といったお客さんの立場に立った細かい案内ができればと思う。ただ世界遺産ではなく、長く御殿場が好きな人を増やしたい。

委員 H：自分も観光客として他市町に行き観光をするが、住民のプライバシーにも配慮していただきたい。素晴らしいアイデアだと思った。

団体：アウトレットができてから、ナビの影響で入れないような裏道まで車が入ってきて地元民は大変迷惑している。そのような反省を踏まえ、十分に配慮し東山区と協力する。

⑥事業名：貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう

団体：富士山みどりの会

(説明時間：9分)

委員 D：富士山の環境保全に向けて植栽を行う団体は多い。学術的に優れた指導者の下、正当な形の植栽を行っていると同っているので、ぜひその理念に基づきやってほしい。

団体：当会顧問の渡辺先生は、植物研究家で、ノウハウをたくさん持っているので教わることがたくさんある。景観や環境に十分配慮し活動したい。

⑦事業名：見直そう御殿場の椿

団体：御殿場椿の会

(説明時間：9分30秒)

委員 F：御東原線の続きに椿を植栽するという話が行政の話としてあったが、もう少し詳しく聞きたい。

団体：(パワーポイント図で説明) 椿の植栽を推奨し、景観整備を行う路線として、これから工事を行う。もともとある椿を活かしながら“椿通り”というものを考えていけたら。もう1か所、須走方面にも地域の特性に応じた木の種類として桜や椿を選定した国の事業も協議が進んでいる。

委員 I：勉強になった。趣味の会とどう違うのか、公益性はどうかといった視点から見ると、樹空の森やふじざくらといった市の公共施設にも残るようになればと思う。「椿の会」と看板が出るような。

団体：小さい会なのでなかなかそこまではいかないが、今回行政と相談する中で公園にもとになっていけば大変うれしい。

委員 B：1年目にマップを作り、またマップを作るのか。一つは市内全域、一つは東山椿推奨地区のマップというように内容は違うが、両方を作る必

要はないのでは。それよりも、椿を守ろうというのなら、知識ではなく体験等の実践的なものを重視した方がよいと思う。マップはあまり見る機会がない。30万円のうちかなりの金額を使い、1年目は何だったのかと思われてしまう。全く違うものであった方がよいと思う。

団体：御殿場にもまだ椿がこんなにあるということをわかっていただけるようなことをしていきたいので、また考えていきたい。椿の里とは言えないにしろ東山地区には椿が残っているので、保全・保護ということに住民にも呼びかけ、椿を復活していけたらという思いのもとマップを作らせていただこうかと考えた。

4 講評（明治大学・政治経済学部 牛山久仁彦 教授） 11：22～

協働して地域の課題を解決するという協働事業だが、御殿場市も回を重ねだいぶ充実してきたのでは。地域の多様化するニーズに行政が全て応えていくというのは財政状況が厳しい一方、市民のきめ細かな取り組みによって絶えず行政の取り組みが充実していくことなど、両者が協力することでより良い地域づくりをしていくということで広められてきた。アベノミクスにより景気が向上傾向にあり、協働が一段落してきた雰囲気はあるが、長期的に見れば厳しい状況は継続していく。たくさんの方が地域に出ていくのが難しくなる状況下で、地域課題解決のためにどうしたらよいのかを考えるうえで地域振興は重要な課題。

そのような中で富士山の取り組み、環境保全といったことが提案され、福祉関連や子育て関連がなかったことが今年の傾向。充実した書類・プレゼンの裏に、それぞれの努力・尽力が見えた。補助金は3年なので、そのあとどう継続していくのがテーマ。税金である以上は無駄には使えず、公正に使うということを念頭にこの後審査をしていただくが、採用された際には事後報告会でどのような公益性や効果があったのかの発表をしていただき、より住みやすい御殿場市となるよう祈念する。

5 閉会（統括） 11：35

審査会 12:45～

①市民提案部門

審査用紙集計結果を公表し、点数・書類とプレゼンにより審査が行われた。点数上位より団体ごとに審査。それぞれの冒頭で事務局より審査用紙に記された委員のコメントが読み上げられた。

審査用紙集計結果

順位	団体名	点(60点満点)
1	地域ねこ活動の会	49.1
2	富士山みどりの会	47.9
3	御殿場おかみさん会	46.5
4	東山路観光協議会	46.1
5	NPO ありがとう ふじさん	40.5
6	御殿場市富士山世界文化遺産研究会	38.4
7	御殿場椿の会	38.1

※「地域ねこ活動の会」について、市民委員1名が会に加入しているため、審査に加わらなかった。

① (地域ねこ活動の会について)

【審査用紙コメント】

- ・もっと市内全般に広まるとよいのですが。
- ・新橋区だけの問題ではないので、これをモデルとして市全体に広げていく活動も進め、3年を過ぎた後の活動についても計画し、続けていってほしい。
- ・保健所からの資料によると中央公園付近が多いのでこちらの方も活動を広げてほしい。
- ・(地元)自治会の理解がまだ不足している感じを受けました。地域への活動PRを積極的に行っていただき、自治会の協力(特に資金面)が得られるよう希望します。
- ・協働事業終了後の資金、協力者を集めるなど、継続性が不安である。収入源の確保と更なる事業PRを。
- ・補助金交付終了後の事業継続をどうするか。今から対応を考えておくべき。対症療法ではなく、初めからのら猫を発生させない啓発活動も積極的にすべきではないか。
- ・地域にとって必要な事業だと思いました。

ファシリ：何か問題点や意見はあるか。

委員 G:素晴らしい事業だと思い高い点を付けたが、この後の資金確保と賛同者、

地域側の盛り上がりには欠けるという点が危惧される。それらは行政にもテコ入れをしてもらい、継続できる手法が確立できれば。
ファシリ：その旨を行政の担当課にも強く伝えてほしい。

☞ **地域ねこ活動の会** 補助金額：300,000円

*行政担当課に資金面、賛同者増員、住民側の盛り上げといったことに積極的に関わってもらうよう伝える。

② (富士山みどりの会)

【審査用紙コメント】

- ・いわゆる外的要因による絶滅リスク（シカ等野生動物・入山者・オフロード車）への対策にも力を注ぐ必要があると思います。特に関係機関（商工観光、山林等管理者など）との協働対策について御検討いただけると事業の効果が高まると思います。
- ・非常に興味深い内容でした。同じ団体のほかの活動との線引きが難しいのでそこは意識的にやってほしいです。
- ・なかなか目の届かない分野によく気が付いてくださいました。今取りかからなければならぬ事業では？先の長い事業ですので、人材を育てることに努めていただきたい。
- ・3年だけでなく10年、20年継続すべき事業と考えるが、借上費が25万円余計上されているが、補助がなくなったあとどうするのか。要検討
- ・市民協働事業ではなく、委託事業として市が継続的に行っていくべき。資金を集める手法が確立するまでの長期間の支援が必要。

委員 J：今年度植える状態にはできないと思う。ある程度は把握しているが、まずは群生といったことの詳細調査をする。方向性を検討しながら進めると言っていた。

委員 F：ライオンズクラブがバッコヤナギを植えているが、協働してできないか。

委員 J：はじめはバッコヤナギ等の植樹を行う相談があったが、富士山の自然を人間の手で増やしていくという緑の会の趣旨とは別に、森は自分の力で作られていくので人間は手を加えてはいけないという意見があった。行政が協働するにあたり、賛否両論の中でどちらかに肩入れするというのは難しいので、野生の植物を守る立場なら環境課も応援できるということで事業化した。土地の関係も行政が入り問題のないようにする。

☞ **富士山みどりの会** 補助金額：300,000円

③（御殿場おかみさん会）

【審査用紙コメント】

- ・ 昨年の引き続きではなく、今年度ならではの新たなイベントがあるとよかったと思う。
- ・ 事業に対する周囲の理解が深まるよう期待します。この事業補助金も恒久的ではない。民間による資金協力をもっと受ける必要があると思います。（特に中心市街地でのイベントなので）
- ・ 今年で3年目。楽しく活動でき、参加の輪が広がっていることを嬉しく思います。
- ・ 3年目になりますが、来年以降につながるよう期待します。
- ・ まちづくりにはとても役立っていると思います。
- ・ 実績のある団体なので、問題ないと思います。

ファシリ：雨の対策等の意見はあったが、ほかに何か意見はあるか。

一同：特になし。

👉 御殿場おかみさん会 補助金額：300,000円

④（東山路観光協議会）

【審査用紙コメント】

- ・ 地域全体での地域活力向上につながればよい。単なる観光マップでは効果が薄いかな。
- ・ 事業者の業務拡大（宣伝）のみにならないでもらいたいと思う。
- ・ これまで個々の事業者が連携するきっかけとなったことに評価したい。マップ作成についてはもっと深く検討されたい。
- ・ “お客さん目線でのマップ作りをしたい”良いと思います。リピーターを作る心意気を感じました。
- ・ パンフレット作成だけでなく施設の案内表示板の設置、遊歩道の清掃など活動の中を広げてほしい。店舗、施設だけでなく、まちづくりに一緒に取り組める体制を作っていただきたい。
- ・ 本来、東山・二の岡地区は別荘地で環境の良い地域ですので、観光客目線でよいものを作っていただき、加えて人もつながることによりリピーターにつなげ、発展して市の観光の中心になることを期待します。

委員 A：審査用紙のコメントを、そのまま団体に伝えてほしい。このパンフ作成によって東山荘の利用者に対するプログラムが非常に増え、直接的に利益を受けるのではと思っている。総額40万のうち30万が補助金だが、直接利益を受ける人たちがもっと負担してもよいのではと思う。

ファシリ：もっと公益性についての広がりを持つということですね。

委員 K：椿の会が作ろうとしている地図と範囲がほぼかぶっている。そのような

横のつながりもできたらお互い相乗効果がある気がした。
ファシリ：お互いの連携を探ってほしいと両団体に伝えてほしい。

☞ 東山路観光協議会 補助金額：300,000円

- * 公益性についてもっと広がりを持たせること。
- * 関連する団体と連携すること。 を伝える。

⑤ (NPO ありがとう ふじさん)

【審査用紙コメント】

- ・ 去年見せていただいたが、今回はほかの団体も参加することのこと。より近く深い活動を期待します。
- ・ 市民芸術祭とかぶるなら、あえて協力して行うのも一つの考えでは。
- ・ ごてんばドンドンの兄弟か？
- ・ 文化スポーツ課と協働し、芸術祭の一環とするなど、開催方法が工夫できるのでは。
- ・ 富岳の生徒のみではなく、ほかにも広げられたらよいのでは。
- ・ すでに開催されている市の行事と一緒にやったらどうか。

委員 F：コメントの中で、ほかの市の事業と協働してやった方がよいという意見があったが、主管課はどのように感じているか事務局で分かるか。

事務局：主な協働の相手は企画課で、資料 P 2 9 の事前確認書にあるように行政は行政関係機関との調整と広報において役割を担うことを確認している。また、コメントの中の「市民芸術祭」は同日の 11 月 16 日に行われる。団体からは会場が借りられたのがたまたまこの日であったという話を聞いている。市民芸術祭の所管課である文化スポーツ課からは、お互いに助け合えるところは助け合いながらうまく調整したいとの話を聞いている。

ファシリ：今年度はこのような形でいくが、効果的・効率的にやるためには日程や類似のイベントとの関係を調整する努力をしてほしいと団体に伝えるというのはどうか。

☞ NPO ありがとう ふじさん 補助金額：300,000円

- * 効果的・効率的になるよう調整する努力をすること。 を伝える。

⑥（御殿場市富士山世界文化遺産研究会）

【審査用紙コメント】

- ・パンフレットありきが全面に出ているのでもう少し突っ込んだ内容がほしかったです。思いや気持ちは十分感じられるのですが、頑張ってください。
- ・パンフレット作成、配布では新たな斬新な事業とは思えない独自性が必要だと思う。
- ・「パンフレットの作成と配布」という点以外の活動が見えない。パンフレットは子供向け、一般市民向け、観光客向け（日本人／日本人以外）で内容が変わります。A3の3万部では効果がどの程度見込めるか疑問です。企業の協賛（広告料）を得る等、他団体との協働事業として進められるとよいと思う。

委員 C：目的が一つではなく、対象も一つでない状態でよいものができるのか。

「いずれこうしたいけど、今年はこのをやりたい」というものがあればよいが、目的では市民の愛郷心に寄与とあるのに、観光客に配りたいとあるのがよくわからない。たくさんの分野の対象者がいて、それを一つでできるものなのか。

ファシリ：それについては、目的と対象を明確にして取り組んでほしいということにするか、それともそんな甘い計画では補助できないとするか。

委員 L：作ってからだと取り返しがつかないので、作る前に何とかしてほしいと思う。

ファシリ：やはり目的と対象を明確にしてもらう。次年度継続を希望しているが、それについてはきちんとその点を明らかにしなければ交付できないとするか。

委員 B：なぜ市民向けといいながら商工観光課を行政担当課として選んだのか。本来は社会教育課に行くのでは。

委員 G：パンフレットを作るという相談は昨年度末からあったが、市民協働事業とするというのは今年度になって初めて資金面でのという話になって出てきた。最初は教育で使える資料をとということだったが、だんだん話が膨らんだという話を聞いている。変更したぶれないプランを一度確認させていただいてから交付というのもよい気がする。

委員 C：A3の2つ折りで全市を網羅できるのか。例えば富士登山なら富士山の周り限定でよいが。そのあたりも曖昧であった。

委員 G：積み重ね方式で全部で〇〇号という形での提案もしている。この協議会が見直していただく契機になれば。

ファシリ：もう一度関連する担当課と打合せ、内容等について計画を直し、内容が十分になったら交付という条件付きでよいか。

委員 E：会としての内容・趣旨はよくわかるが、補助金を使って何をしたいのかということの具体性がよく見えない。話し合ってもらい、方向性が大きく

異なった場合はもう一度この場で審議できるか。

事務局：できない。この場で決めていただく。どちらの方向で転がってもいいというようなことになると、プレゼンの時の委員 C への回答とならない。事務局では方向性は指導できないので、担当課に投げてしまってよいものか不安。方向性をこの協議会で決めてほしい。事務局はそれに従う。

委員 C：市民公募委員として、完全に市民目線で言うなら、補助金事業の趣旨からして却下だと思う。とりあえず申請すれば通るといようなものよりは、それなりのものを出さないと却下されるという前例もありかと思う。

委員 L：かけをするわけにはいかない。誰に何を伝えたいのかがはっきりしない。

ファシリ：市内に専門的説明書は本当になのか。

委員 G：まだ研究段階なので分野ごとはあるが、1枚のものはない。

ファシリ：そういったことをこれから団体がやってくれるという可能性はあるということ。やり方としては①あいまいなので落とす。②こういうものなら良いと条件を付けて採択する。のどちらかであろう。

委員 B：本来の事業名である御殿場市民向けパンフに戻るべきでは。商工観光課ではなく社会教育課とメインで行ってほしい。

ファシリ：主な協働先を変え、社会教育課と行き、両方で合意と調整がとれ、市民向けとなるなら採択という条件付きでよろしいか。厳しい意見もあるが、それを解決するにはこの方法しかない。

委員 M：研究会だから夏までにパンフを作りたいのではなく、それまでの過程が大切。内容をいかに吟味し、濃いものを作っていくことが市民と行政の協働で作っていく。その結果としてパンフができるということであれば話は通じる。パンフありきでやっているとその目的が見えてこない。行政と市民が一緒に学び、研究していく過程に着目して行えばよいのでは。

ファシリ：いきなりパンフが出ているのでわかりづらい。その作成のプロセスもわかるようによく社会教育課と相談するという条件を付け採択か。

委員 B：パンフを3万部作るのではなく、過程を重視するならワークショップ等の必要経費として使うという案もあるのでは。

委員 N：今年年度当初に県がまとめたものがある。市はない。研究会を通じて郷土についてやっていただくのは大いにあり。継続性がネックで、配布して終わりではない。あいまいな形で傳承していくのではなく、しっかりしたプランを作ってもらいたい。今回30万円の中でしっかりと練っていただき、次年度以降につなげてほしい。

ファシリ：意見をまとめると、予算の組換えをし、事業展開を変えるということも考慮するということがよろしいか。

委員 O：3年と考えると、この1年も貴重なのでそこをつぶして終わるよりは練

り直して3回しっかりやるという考えもあると思う。

ファシリ：そのような含みを持たせることも必要か。

委員 L：やるかやらないかは団体に聞いてみるのもよいのでは。

委員 P：世界遺産登録され1年なので今年ということであろうが、社会教育課の話聞いて考えると非常に中途半端である。やろうとしていることは分かるが、教育委員会を巻き込み学校向けにするなどしてターゲットを一つに絞るのであれば貢献度も上がってくるのでは。

委員 F：富士山が世界遺産に登録され、今が盛り上げるタイミングだと思う。他市がいろいろ取り組んでいる中、御殿場市はまだまだ取り組みが少ないので、そのような意味では社会教育課に半分下駄を預けるような形で取り組んでいただきたらと思う。

委員 B：小学5年生は富士山豆博士という形で学習をしているが、そこに関連付けるのもよいかと思う。

ファシリ：社会教育課と市民協働課で団体と話し合っただき、主担当を社会教育課とし、市民向けの内容となるようよく両方で詰めていただき、期待に応えるようなパンフレットを作ってほしい。作成だけではだめなので作成に至る過程、および作成後の活用方法を練り直していただき、予算も含め単なるパンフレットとならないよう事業を組み替えてほしい。そのためには予算の振り分けも行う。市民協働課で、それが今日の協議の内容にそぐう形だと確認できたら採択するというところでよろしいか。行政に投げるのではなく、ここでの意見を詳しく団体に伝え、それを満たすことで合意を図りたい。

委員 G：それだったら練り直して来年再申請するという意思が団体であった場合はそれでもよいか。

ファシリ：その通り。

☞ 御殿場市富士山世界文化遺産研究会

補助金額：300,000円

* 主な行政担当課は社会教育課とする。

* 市民（教育）向け内容に絞る。

* 作成過程～成果物～活用・還元方法、予算を目的を達成するための最善策に練り直す。を条件とする。

なお、団体に協議内容を伝え、事業実施の有無も確認するものとする。

⑦（御殿場椿の会）

【審査用紙コメント】

- ・市（都市計画課）の関わりがマップ作成部分のみということが寂しい。椿の文化伝承、椿油の活用（産業化）など、椿を広めていく活動は期待したい。
- ・前年より具体的なことが見えてきています。前回と違うマップ作りを期待します。椿の持つ良さをもっとアピールできるとよいと思います。次世代につなげる活動をしていかないとと思っています。椿ガーデンが実現できることを期待します。
- ・3年目ですので、来年度以降にどうつなげるかもあわせて検討し、続けられることを期待します。マップについては東山路観光協議会さんのパンフと協力してみてもは。
- ・ポスター、チラシ印刷の予算が高すぎるように思います。ほかの印刷会社からの見積り、またはインターネットのチラシ作成などの検討が必要なのでは。
- ・講演会、講習会の参加予定者を見ると会員相互の会から脱却できていないように見える。より広範囲の人を対象してほしい。
- ・実際の事業内容を見ると御殿場の椿から離れている気がする。

委員 C：東山の部分は東山路観光協議会と同一でいいのではないかな。横のつながりで話し合ってもらいたい。

委員 B：緑の会のように挿木を配りますといったことをやってくれるといいが。

委員 A：意見がたくさん出ているように、2年間やっていることがほとんど一緒。事業の発展性が全く感じられない。過去2年やってきた活動を踏まえると、マップ作りも、自分たちの仲間内だけの活動で、市民協働として補助金を支出する意義が乏しく感じる。

委員 C：過去の活動では太郎冠者を動かすなど市内の椿保全のことに、油絞り等の活用による全市的な利益をもたらすものがあった。過去2年でマップ、パンフはできたので今年はマップ以外の活動に力を置いてもらうという条件はいかがか。パンフはやめ、その分を広げる活動に。

ファシリ：予算を組み替えるということか。マップの15万円分で何かを考えるとというのは難しいだろう。

委員 G：申請書にデータ収集とあるが、データ更新が可能な形で蓄積はした方がよいと思う。マップにするかどうかは別として。マップの作製をしないことがデータ収集が無駄だと言っているわけではないということは伝えた方がよい。

ファシリ：新たなマップを作るとするのは時期尚早ということだが、それがデータ収集をしなくてよいというわけではないと伝えるか。印刷製本費173,880円から団体持ち出し分28,880円を除いた椿まつり分のみ交付するという意見が大勢かと思うがいかがか。

事務局：団体としては過去2年間、補助金申請が会の運営費の一部補助という形

で受け止められたことを反省しており、今年度については椿まつりとマップ作成に絞って申請した。今年のマップは、データ蓄積をし、承諾をもらいながら個人宅の椿を紹介するマップで、2年間の成果を踏まえ一歩突っ込んだ内容を作るとのこと。都市計画の景観条例に影響を与え、趣味ではないとの思いを受けている。

ファシリ：半額採択か、不採用という意見が多いようだが。

委員 E：会の会長の思いは分かったが、具体的な効果が十分に伝わり切れなかった。点数が審査員の正直な感想だと思うので、減額が妥当ではないかと考える。思いは分かるので、不採用は今までの活動もありふさわしくない。

ファシリ：椿が昔から地域にあり、それを伝えていきたいという思いが団体にはある。満額採用がよいという意見はあるか。

一同：なし。

ファシリ：内容についても課題があり、個人宅を記入する場合更新の問題もあるし、以前も作っているので、作り変えるのは準備も必要で時期尚早。それを踏まえると、173,880円のうち団体持ち出しの28,880円を引いた145,000円の減額で、椿まつり分の155,000円の交付決定でよろしいか。

一同：了承。

☞ 御殿場椿の会 補助金額：155,000円

*マップ作成は認めない。 を条件とする。

→【市民提案部門】

40点以上：満額採用

40点未満：条件付き採用

最下位：減額採用

②はじめの一步部門

審査用紙集計結果を公表し、点数・書類により審査が行われた。
冒頭で事務局より審査用紙に記された委員のコメントが読み上げられた。

審査用紙集計結果

団体名	点（40点満点）
キラキラキッズクッキング	29.2

【審査用紙コメント】

- ・協働相手は、健康推進課がふさわしいのでは。（会場、広報は団体が自力で、または健康推進課で行えそう。）
- ・輸入に頼っている日本の状態。農業の大事さも合わせて教えてあげてほしいです。
- ・参加者負担金を財源に変えたらどうか。企画としての行政の活用策をもっと戦略的に捉えてみてはどうか。事業対象のターゲットについて、もう少し研究の余地があると思う。

委員 L：子どもは料理に対し興味を持っているが、親が教えるとなると忙しくて手とり足とりできない。

委員 C：料理以外にも食育の部分でも教えていくという料理以外の目的もある。趣旨は良いが、参加費があってもよいのでは。例えば子ども家庭センターに募集の張り紙をした場合、4回なら4回とも同じ人物が無料で参加し、内容的に偏る恐れがある。

ファシリ：市の全体の広報を行ってより広い範囲での募集を行ったり参加費を取ることにより多くの人に参加できるような対策をしてほしい。

委員 C：1人1回のみしか参加できないと決める方法もある。

ファシリ：例えば1回目は無料で2回目からは参加料を取るなど、そのような工夫をしていただき特定の人の利益とならないよう伝えてほしい。

👉 キラキラキッズクッキング 補助金額：50,000円

*より多くの人参加が生まれる工夫をすること。 を伝える。

※会終了時に会長より、採択された市民協働事業に委員の出席を徹底するため、各々誰が出席するか担当を決めた方がよいとの意見があり、年内の事業についてはその場で担当を決めた。